

学会だより

常任幹事会記録

開催日：平成12年8月19日

場所：東京大学大学院農学生命科学研究科会議室

出席者：会長 武田和義，副会長 足立泰二，二宮正士，平田豊，平野博之，佐藤和広，大澤良，木庭卓人，松田長生，矢野昌裕，西尾剛，辻本壽，中村郁郎

各常任幹事の経過報告を行った後 秋季幹事会の議事，50周年記念事業，編集委員会の体制，名簿の整備方法などについて討議した。

幹事会記録

開催日：平成12年9月24日

場所：弘前大学農学生命科学部

出席者：会長 武田和義，副会長 足立泰二，島本義也，三上哲夫，沢田壮兵，新開稔，森宏一，渡辺正夫，岡正明，西尾剛，福山利範，佐々木卓治，町井博明，松田長生，矢野昌裕，二宮正士，生井兵治，大澤良，丸橋亘，平野博之，平田豊，笹隈哲夫，辻本壽，野村和成，三位正洋，木庭卓人，中村郁郎，北野英巳，佐藤洋一郎，古田喜彦，神山康夫，福井希一，谷坂隆俊，大田正次，上島脩志，安室喜正，佐藤和広，一井眞比古，山口聰，吉村淳，佐藤光

1. 報告

- (1) 名誉会員の水島宇三郎先生がご逝去されたので学会として弔意を表すとともにお花代をお贈りする。
- (2) 会員数は8月31日現在，名誉会員12名，普通会员1,576名，学生会員355名，海外会員137名，その他賛助会員，団体会員を合わせて総数2,346である。
- (3) 奨励賞の副賞を本年度からこれまでの花瓶から変更することを常任幹事会で検討中。
- (4) 名簿の整備について育種学研究第3号にお詫びと名簿整備の方法を掲載した。来年育種学研究第3号に新名簿を添付する。事務能力向上のため中西印刷に新たに渉外課長補佐が設置され，育種学会担当に加わった。
- (5) 会費納入方式の変更と会員の資格について。これまで会費納入用紙を第一号に添付していたが，来年度分から12月に会費納入振込用紙を各一般会員に送付する方式に変更する。また，これまで，一般会員が会費未納の場合には督促状は送付されていなかったが，今後，会費納入の督促を行い学会経営の健全化をはかることにした。
- (6) Breeding Science 第50巻には原著36，速報1，資料4が掲載される予定である。本年は9月までに39報の論文が投稿されたが，より多くの投稿を期待している。

育種学研究第2巻には原著14，ノート2が掲載される予定である。

- (7) 平成12年度科学研究費補助金(学術定期刊行物)として140万円，弘前大学における公開シンポジウムに対して136万円(研究成果公開促進費)が交付された。
- (8) 学術著作権協会から本年度還元金5万円を出版物の著作権料として受け取った。
- (9) 平成12年度秋季大会(弘前)での講演発表数は267題(内講演取り消し2)，シンポジウムは3課題である。
- (10) シンポジウム委員会において第43回シンポジウム(50周年記念シンポジウム)を以下のように開催することを決定した。
 - ・特別シンポジウム「育種学この50年とこれから」(大会初日午後2時から他の課題と重複なしで開催)
 - ・一般シンポジウム(大会2日目一般講演と並列開催)
 - 1) 植物の育種障害をいかに克服するか，アポミクス研究を中心に 主任：足立泰二(大阪府立大学農学部)
 - 2) 多型検出法の新展開と育種学における利用 主任：原田久也(千葉大学園芸学部)
 - ・公開シンポジウム「生物資源は誰のものか」：提案者地元幹事校

2. 議事

- (1) 平成12年度 日本育種学会賞の選定
学会賞等選考委員会および幹事会の議を経て次の2件を選定した。
 - ・高木胖(佐賀大学農学部)，S. M. ラーマン(ラシャヒ大学遺伝・育種学科)：ダイズ種子脂肪酸組成の改良に関する遺伝育種学的研究
 - ・北陸農業試験場「キヌヒカリ」および「どんとこい」育成グループ(代表 上原泰樹(北陸農試))：「キヌヒカリ」および「どんとこい」など水稻の極良食味・高品質・安定多収品種の育成
- (2) 平成12年度 日本育種学会奨励賞の選定
学会賞等選考委員会および幹事会の議を経て次の1件を選定した。
 - ・貴島祐治(北海道大学大学院農学研究科)：植物トランスポゾンの転移機構に関する分子遺伝学的研究
- (3) 日本農学賞候補および推薦人について
学会賞等選考委員会および幹事会の議を経て次の1件を選定した。
 - ・河野和男(神戸大学農学部)：キャッサバ育種研究体制の確立と新品種の開発(推薦人：武田和義(岡山大学資源生物科学研究所))
- (4) 2001年秋季大会開催地は佐藤光氏を大会運営委員長として次の要領で開催されることに決定した。

場所：九州大学

日程：幹事会 10月6日(土)、講演会 7日(日)~8日(月、祝)、公開シンポジウム 9日(火)

(5) 日本育種学会創立50周年記念事業について

・式典：学会初日の総会、学会賞受賞式・講演会の後行う。会長挨拶、来賓祝辞、名誉会員への感謝状贈呈、養賢堂の表彰、50年を振り返っての講演、SABRAO 会長 Khush 氏の講演、将来展望についての講演を行う。その後行われる懇親会に50周年記念祝賀会を含める。

・記念誌：「育種学の過去・現在・未来」をテーマとして(a)50周年式典の内容(b)育種学会の歴史(c)現在、育種学会が直面している課題(d)これからの育種学への夢を内容とする育種学研究特別号を刊行予定。

・育種フェア：来年11月農林水産祭の事業として行われる「実りのフェスティバル」に育種フェアを設定してもらう。

・育種学事典：本年5月以来4回の委員会を開催し編纂方針を確定した。育種学用語集3分の1程度について説明し、CD-ROM化して3年程度での完成を目指す。

・シンボルマークの募集：先にメールで幹事会にはかり大多数の賛成を得て作業中である。育種学研究および一般雑誌(公募ガイドなど)で公募中。9月19日現在50件以上の応募がある。常任幹事会メンバーで選考し、来年4月の式典で入選作を発表する予定である。

(6) 日本育種学会賞運営内規の改正：育種学会奨励賞の選考方法に関わる内規の改正について提案されたが、春季幹事会まで結論を保留することとなった。

(7) 編集委員の追加および交代について、吉村淳氏に替わって倉田のり氏、外国人編集委員として Andreas Kleinhofs 氏(ワシントン州立大学)および Mike Bonman 氏(Dupont社)を新たに委嘱することを了承した。

(8) 学会事務取扱所の契約更新：学会事務取扱所を中西印刷株式会社、広告代理業務を株式会社誠広社と契約することが了承された。

(9) GMO検討委員会について：会長から経過報告、アンケート回収の依頼があった。

(10) 雑誌および講演要旨集の頁計算方法の契約を発行部数が増えるほど、1部単価が減少する方法に変更した。また、会誌用紙を本年第3号からこれまでの「しらおいマット」を「NVマット」に変更した。

第9回 SABRAO 会議開催のお知らせ

既報の通り、第9回 SABRAO 会議(9th Congress of the Society of the Advancement of Breeding Researches in Asia and Oceania)は第4回のアジア作物学会議(Asian Crop Science Conference)との共催で Asian Agriculture Congress (AAC)として以下のように開催されます。

会期：2001年4月24日~27日

会場：The Westin Philippine Plaza(フィリピン、マニラ)

主催：SABRAO(第9回会議)、ACSA(第4回会議)

テーマ：“Food Security and Environmental Protection in the New Millennium”

アブストラクトの提出期限は2000年12月31日です。詳細は AAC のホームページ(<http://www.cgiar.org/irri/asian/main.htm>)をご覧ください。また、AAC のアナウンスメントは本会ホームページ(<http://www.affrc.go.jp:8001/jsb/index.html>)にもあります。ホームページを利用できない方にはハードコピーをお送りしますので、サブラオ国内委員会(大澤良, Tel: 0298-53-6674, E-mail: osawaryo@sakura.cc.tsukuba.ac.jp)にお申し込み下さい。

AAC 参加者への航空券の斡旋は、(株)日本旅行上野東支店が行っておりますので、(<http://www.nta.co.jp>)を参照いただくか直接(株)日本旅行へお問い合わせ下さい(AAC 担当：大串・青木, Tel: 03-3844-7661(3月5日以降は 03-3898-5310), Fax: 03-3844-8980(3月5日以降は 03-3982-4786), E-mail: uenohigashi-office4@nta.co.jp)。

申込締切は2001年3月20日です。(株)日本旅行では 4/23 成田 - マニラ, 4/28 マニラ - 成田(60,000 ~ 64,000円) 4/23 関空 - マニラ, 4/28 マニラ - 関空(53,000 ~ 59,000円)などを企画しています。運賃は格安運賃で航空会社によって航空券の値段が異なります。ご希望の方には宿泊の手配もいたします。

EUCARPIA

Genetic Resources Section Symposium, Broad variation and precise characterization - limitation for the future, May 16-20, 2001, Organized by Institute of Plant Genetics, Polish Academy of Sciences, Paznan - W. K. Swiecicki

上記に関する First circular が届きました。必要な方は Fax でお送りしますので、庶務幹事佐藤までご連絡下さい(連絡先巻末)。

第11回 SHITA シンポジウム「21世紀における植物工場生産の展望」

日時：2001年1月31日(水)9時40分~16時30分

会場：中央大学駿河台記念館281号室(千代田区神田駿河台3-11-5, JRお茶の水駅徒歩3分)

案内書、参加申込用紙が必要な方は、下記にご請求下さい。日本植物工学会企画委員会 林真紀男(Fax: 0559-68-1156, e-mail: hayashi@fb.u-tokai.ac.jp)

財団法人タカノ農芸化学研究助成財団 平成12年度研究助成対象者募集

(1) 研究課題：穀類並びに豆類の、栽培・育種、品質成分並びに栄養生理、利用および加工技術などに関する研究。納豆菌等微生物の特性・生成酵素等に関する研究。

(2) 研究助成対象者：大学・短大(大学院生も含む)、国立試験研究期間の研究者など。(3) 助成金額：一般、1件100万円を5件程度、若手、1件50万円を5件程度(昭和36年4月1日以降に生まれた者)(4) 申請手続き：下記

に申請用紙を請求し(郵送用に140円切手同封),必要事項を記入の上,平成13年3月20日(必着)までに送付.
〒311-3411 茨城県東茨城郡小川町野田字大沼頭1542
(財)タカノ農芸化学研究助成財団 タカノフーズ(株)内 財
団事務局 (TEL 0299-58-3805; FAX 0299-58-3847).

談話会だより

近畿地域談話会第149回例会

平成12年7月8日(土),滋賀県立大学共通講義棟

1. 一般講演

- 1) 水稻の条抜き疎植栽培が雑草発生及び収量,品質に及ぼす影響:大橋善之(京都府農業総合研究所)
 - 2) 50mメッシュによる気温の推定と山田錦の生育環境:○須藤健一・牛尾昭弘(兵庫県立中央農業技術センター農業試験場)
 - 3) 東北タイ天水田稲作の生産性に及ぼす窒素管理と品種の影響:○澁川洋・堀江武・本間香貴・大西政夫(京都大学大学院農学研究科)・Nopporn Supapong Ubong Rice Research Center)
 - 4) 異なる窒素条件下におけるイネの硝酸還元酵素欠失突然変異体の生育:○大村典子・長谷川博(滋賀県立大学環境科学部)
 - 5) イネにおける炭素同位体分別の品種間差異:○山田拓威・吉田貴弘*・長谷川博(滋賀県立大学環境科学部,*現,滋賀県農業総合センター農業試験場)
 - 6) タバコ属植物3亜属7種で認められる交雑不親和性:○浜田健太郎・井上雅好(京都府立大学農学部)
 - 7) *Nicotiana rustica* L.と*N. tabacum* L.の種間雑種の体細胞および花粉母細胞での染色体分析:○北村智・井上雅好・中島育子*(京都府立大学農学部,*現,農林水産省果樹試験場)
 - 8) トウモロコシ遺伝資源の観賞用としての形態多様性:○大橋泰洋・樽本勲・森川利信・梁瀬雅則(大阪府立大学大学院農学生命科学研究科)
 - 9) 種間交雑で得られたホモスタイル型自殖性ソバ系統と自家不和合性反応:○吉岡宏幸・大本剛*・禹仙熙**・足立泰二(大阪府立大学大学院農学生命科学研究科,*宮崎大学大学院農学研究科,**横浜市立大学木原生物学研究所)
- #### 2. 特別講演
- 1) 根系形態のトポロジー解析:泉泰弘(滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科)
 - 2) 朝鮮民主主義人民共和国・平壤近郊地域における稲作実態調査:○井上博茂・天野高久(京都大学大学院農学研究科栽培システム学研究室)

日本育種学会会員異動(2000.7.26 ~ 2000.10.26)

普通会員入会:青木法明,柴田未知恵,高師知紀,土岐精一,平野恒(茨城),増田太郎(千葉),古橋征樹,吉沢健(東京),梶浦善太(長野),大澤瑞枝(静岡),池内智彦(大阪),杉本学(岡山),林田達也(福岡),Shaikh Mizanur Rahmar(佐賀),Werapon Ponragdee(沖縄)

学生会員入会:小林聡,佐藤宏充,佐藤美津穂(北海道),高田美信(岩手),Park, Jin Heui,有泉亨,石川優一,稲葉龍一,小田島雅,木村亮(宮城),新山洋子(山形),野津良幸,脇下さおり,増田優(茨城),渡辺啓史(千葉),周金妹,太田雄三,角倉剛,中村豪宏,長谷謙一,林田恵美,目黒直樹,山木辰一朗(東京),永田久顕(神奈川),田巻大介,松原幸佳(新潟),Hossain M.D. Amza(長野),園田裕,武田泰斗(愛知),麻田恭一(京都),中條篤史(奈良),岸本晃幸(熊本),大本剛(宮崎)

団体会員入会:種苗管理センター十勝農場(北海道),島根大学附属図書館飼料受入係(島根)

外国会員入会:Hyo Yeon Lee(大韓民国),施芳(中華人民共和国),Collegeo Postgraduado Chapingo(U.S.A.)

住所変更等

普通会員:幸田秀穂(社名変更),齋藤英俊,佐々木忠雄,相馬ちひろ,高田明子(旧姓:小原),田中一生,中住晴彦,八戸三千男,脇田陽一(北海道),石田正彦(岩手),瀬尾直美(旧姓:白澤),早坂浩志(宮城),神田啓臣,渡辺明夫(秋田),永富成紀(福島),足立大山,池田良一,岩井孝尚,上山泰史,川端習太郎,武弓利雄,松本麻子(旧姓:二階堂),本吉總男,安本知子(旧姓:白戸)(茨城),荒川明(栃木),大串憲祐(旧姓:福多),樋口恭子(群馬),五十嵐由美子,矢ヶ崎健治(埼玉),大村武史,鈴木健司(千葉),小林仁,服部等(東京),秋吉美穂,天野實,猪熊千恵,本橋強,屋祢下亮(神奈川),吉岡藤治(新潟),小泉昌広(富山),北林広巳,元木悟(長野),古田彰(岐阜),中島輝子,頼富寿秀(静岡),芦荻基行,加藤恭宏,宮崎力(愛知),齊藤哲(鳥取),岡部昭典,長久逸(広島),山栄午朗(山口),粟村光男,今林惣一郎(福岡),横尾浩明(佐賀)

学生会員:伊藤裕介,山田哲也(茨城),山中直樹(千葉),森野和子(新潟)

団体会員:日本甜菜製糖株式会社農技開発課(北海道),秋田県農業試験場企画管理部(秋田),市邨学園短期大学図書館(愛知),滋賀県農業総合センター農業試験場図書室(旧:滋賀県農業試験場)(滋賀)

外国会員:Kwang-Ho Kin(大韓民国)

<国内から海外へ> A.H.M. Kamal, Aliya Momotaz (Bangladesh), Talaat Abdel-Fattah Ahmed (Egypt), Oti Rostiana (Indonesia), Seiji Yanagihara (Philippines), Shintaro Sugiyama (Thailand)